

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

メダカは同じ場所に安心する!?

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

きっかけ



小川でおよぐメダカを見ていたら、流されることもなく、先へ進むこともなく、
その場でみんな同じ方向を向いていた。
それがふしぎだったので、家で実験してみたいとおもった。

実験のやり方

つけたものや、しらべるやり方
を書こう。絵やしんもつかうと
わかりやすいぞ。

次の実験をしてメダカの行動を観察する。

実験1

メダカのいる水そうの水を手で
そっとまぜて、一方向の流れをつくる。



実験2

縦じまもようをかいた紙で水そうを
かこって、紙を一方向に回し、
景色が流れているように見せかける。



なまえをわすれずに書こう。

年組 なまえ ()

よそう
しらべる前に、けっかを予想して書く。
予想した理由も書こう。

実験1

流れにさからっておよぐ。

実験2

紙を回した方向におよぐ。

けっか
じっけんのけっかだけを書く。
表やグラフ、しんをつかうとわかりやすいぞ。

よそうと同じけっかになった。

わかったこと
けっかからわかったこと、かんがえた
ことを書く。よそうとちがったときは、
どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

水流があるところではメダカは流れにさからっておよぎ、同じ場所にとどまろうとする。
縦じまもようの紙を回すと、流れがないのに、もようをおいかけると紙の回転と
同じはやさでおよぐ。これはメダカにとっては、景色についていくことで自分のいる
場所をかえていないつもりなのだろう。メダカは同じ場所にいつづけることがわかった。

まとめ
けっかとわかったことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

川の流れに身をまかせていると、さいごは海に流れついてしまう。
大きな魚に食べられてしまうかもしれない。安全だとわかっているいつもの場所がメダカは
安心するのだろう。まわりの様子をよく見て、仲間やいつもの景色をおぼえているようだ。
こんどは野生のメダカの生息マップをつくってみたい。
きっとメダカのすきな環境がわかるとおもう。